

くろだ

みどりニュース

多面的機能支払制度

第55・56号

発行

令和3年10月31日

黒田みどり会

ふるさととは新型コロナにめげず

春・夏の環境整備

「ふるさと黒田」は、2年以上に及ぶ新型コロナ禍のなか、集落ぐるみで万全の対策を行いながら、クラスターの発症も見られず平穏に暮らして来れました。その中で、黒田みどり会は、住民各位の協力を得ながら集落の活性化を地道に行っています。

農地維持活動

住民の絆で続く春・夏の環境整備デー（通称愛護デー）

4月4日（日）には、生活用水にもなっている農業用水路の江浚いのほか、防草シート設置や水路の補修などを行いました。

また、8月1日（日）には早朝から気温が高いなかで全世帯約360人が参加し、集落内の市道や農道、公園内の草刈りや障害物の除去などを行いました。



16班用水路で除草幕の設置（4月4日）



6班 用排水路法面の除草（8月4日）



14班 集落道周辺の障害物の除去（8月4日）



いっぴく！ イップク！ いっぴく！



👉 作業前



👉 作業後

用排水路の河床掃除

井田から黒田、下井田新へと流れる杉原西部の主要な用排水路の一つが、長年にわたる水生植物の繁茂で水の流れが阻害され流水が田んぼに逆流することが多発するようになっていました。

このことから、4月4日 黒田みどり会では、地元の会員が所有するショベルカーで十数年ぶりに江浚えを行いました。

その後は、流量の多い時でも逆流することが解消され両岸の土砂流失もなくなりました。



12 班地内



1 班地内

水門の塗装作業

7月20日 黒田みどり会は、黒田地内にある主要な水門の5か所について、さび止めのペンキを吹き付けたり、グリスを注入して、操作が円滑に出来るようにしました。

資源向上活動

農作業体験を通して農業施設等に関する啓発を行ったり、老朽化した箇所の軽微な補修などを実施しています。

14班では、現役時の豊富な土木工事の経験者が多く、以前にも用排水路の修理や法面の補修などに取り組んでいますが、今年は、狭くて曲がった集落道の路肩を整備し、大型化している農業機械などが円滑に通れるよう改善しました。



👉 14 班 集落道の路肩補修（4月4日）

楽しく農作業体験（サツマイモの栽培・用水路の生き物調査）



10月9日（土）黒田みどり会は、児童クラブや楽寿会とともに春に植えたサツマイモの収穫を行いました。5月22日に植えた小さな苗50本が、土の中で大きな芋に成長し、久しぶりの大豊作に子供たちはビックリ、みんなで焼き芋にして食べました。

そのあと、農業用水の生き物調べを行いました。今年は、夏から秋にかけて好天が続き、水量が少なかったためか、参加児童の数の多かった割には、生き物の数が少なかったです。しかし沢ガニやドジョウ、カワニナ、蛭の幼虫などの生き物は、去年と同じように確認できました。



👉 サツマイモの収穫



👉 黒田西部用水路での生き物調査

ふるさとを花いっぱい

花の苗植え 6月5日（土）



黒田みどり会は、昨年に引き続き壮年団や楽寿会、児童会役員とともにプランターを設置しました。今年は、新型コロナウイルスの対応のため、例年よりやや少なく、赤・ピンク・白色のベコニア約600本を200個のプランターに定植しました。集落内の通学路や主要な道路など皆さんがよく通る道路の沿線に配置しました

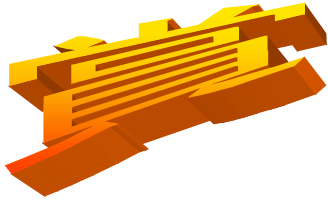


第12回黒田ふるさと写真コンテスト

今年度も恒例の「黒田ふるさと写真コンテスト」を開催します。

黒田地内の農村風景や日常生活などを撮った作品で応募しましょう。

応募作品は「黒田冬まつり」（予定）で発表し、みんなで黒田の風景や活動を楽しみましょう。



最優秀賞 1点（賞品 1万円相当）

優秀賞 2点（賞品 5千円相当）

佳作 5点（賞品 3千円相当）

ジュニア賞 数点

参加賞

作品1点につき5百円相当の賞品、
ただし上限2千円。

応募方法

★作品サイズ キャビネ～ワイド四切

★誰でもオッケーです。

★携帯電話の写メール用でもOK

注 肖像権を使用する場合は、権利者の承諾を得てください。

作品の受付期限

令和4年1月31日（金）まで

作品の提出先 問い合わせは

みどり会代表 松下 進 454-2988

みどり会役員的主要活動！



6月～8月 週1～2回のプランターへの給水



炎天下でのイモ畑の草刈り



さつまいもの植付体験前の畝づくり



みどり会役員会